

# とりの一と百二十二号

## 今月のトリ「イソヒヨドリ」

青い鳥といえば、ルリビタキやオオルリ、コルリ、それからカワセミあたりがぱっと名が上がるかと思いますが、今回紹介するのは彼らよりもやや落ち着いた青色が特徴の「イソヒヨドリ」です。

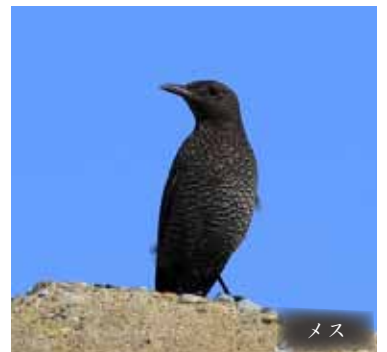
大きさや形がヒヨドリに似ているため、このような名前が付きましたが、分類上はヒヨドリ科ではなくヒタキ科です。

イソヒヨドリはその名が示す通り、かつては磯や港などに生息している鳥でした。ですが、近年では内陸でも見かけることが多くなっています。わたしも、JR ひたち野うしく駅や JR 佐貫駅で実際に見かけたことがあります。

英名である「Blue Rock Thrush」は、青い岩のツグミと訳せます。海外では、岩場を好んで生息しているそうです。

前述の通り、イソヒヨドリ（オス）は頭から喉、背にかけて青い色をしています。胸腹部は、煉瓦色という特徴的な色合いの鳥です。一方メスは全体的にやや暗青色を帯びた茶褐色をしており、あまり派手ではありません。ですが、こちらは鱗模様をしているのも特徴です。

今年も様々な鳥たちを紹介していきたいと思っていますので、これからもどうぞ「とりの一と」をよろしくお願いします。





# 牛久自然観察の森で1月～2月に期待できる代表的な野鳥

## 冬鳥（北の国等で繁殖した野鳥達が、渡ってきて越冬し春に去る）



アオジ



アカゲラ



カケス



ジョウビタキ♂

## 留鳥（年間を通じて同じ場所にとどまり、季節による移動をしない）



コゲラ



オオタカ



カワセミ



ヤマガラ



エナガ



カワラヒワ



メジロ



シジュウカラ



ホオジロ



アオサギ

※留鳥は上記以外にもたくさんいますので、気になる方はスタッフまでお尋ね下さい。



### 【12/15（日）バードウォッチングに確認できた野鳥

コジュケイ♪、キジバト、カワウ、アオサギ、コゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス♪、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、シメ、アオジ、ミヤマガラス

※♪は鳴き声のみ

計 24 種

次回の牛久自然観察の森の  
バードウォッチング

2月16日（日）

9:00～10:30

- 参加費無料 事前申込不要
- 正門前集合
- 双眼鏡の無料貸出がございます。
- 強風・雨天時中止
- ※中止の際は、開始1時間前にHPにて掲載。

令和  
2年

